

Q 寺院の会計で「予算」はどのようにたてるのですか？

A 規模の大小により、予算の金額はもちろん、予算単位の数や設ける費目の数などに著しい差が生じますが、ここでは比較的小規模で広義の宗教活動のみを営んでいる寺院について説明いたします。

一、予算の必要性について

予算は寺院の年間の収支が均衡するかどうか事前にチェックして、寺院の健全な運営を確保するために必要なものです。

昔と違って、現代貨幣経済社会では寺院の収入も支出もすべてお金で決済されるようになってよいでしょう。住職自身の生計は寺院からの給与で支えられるのですし、本堂荘厳のための物品を購入したり、電話代、水道代、植木の手入れ代など寺院を維持するに必要

なさまざまな出費は、すべてお金で支払われます。これらの出費に充てるお金は門信徒からいただく喜捨金や賽銭など、これもほとんどすべてお金で入ってきます。

収入が支出を超えれば余裕が生まれ、お金が貯まってきます。逆に支出が収入を上回るような状態であれば寺院の財政が苦しくなり、もしかすると借金せざるを得なくなったり、住職個人の貯金を吐き出すはめになりかねません。要は収支を均衡させ、若干の収入超過がみられる予算をたて、それが実践できてこそ寺院財政も運営も安定するわけで、国の予算も家計の予算も道理は同じことです。

二、収入の予測について

以前から記帳を続けていれば過去の収入状況がわかるので、それをベースに次の会計年度の収入を予測しやすいでしょうが、そうでないと費目（科目ともいう）ごとに積算の

必要があります。

寺院における収入の最大の源泉は門信徒からのお布施ですが、これを科目別に分けて説明しましょう。

①布施収入：月参り、彼岸、盆等のお参りで受ける布施。過去の実績をもとに容易に予測できます。

②特別布施：葬式、年忌法要、満中陰法要などによる布施や、報恩講など年中行事による収入。これらも過去の実績をもとに予測ができるはずですが。

③志納金：納骨、永代経等に関する収入。

④その他：賽銭収入、墓地冥加金等。

以上の布施収入以外にも、たとえば⑤護持会費などの「会費」収入⑥「寄付金」収入⑦宗派からの「助成金」などがあるでしょう。

三、支出の予測について

支出を予測するには、費目を三つのグルー

に分けて考えるとよいでしょう。

(一) 月々ほぼ一定の支出が見込める費目。このグループは毎月の出費を十二倍すれば、ほぼ年間の予測ができます。

① 人件費：… 住職、坊守、法務員などの給与

② 供物費：… 花や果物などのお供え代金

③ 通信費：… 電話代、郵送等の費用

④ 光熱水費：… 電気、水道、ガスの代金等

⑤ 車両費：… 車両のガソリン代など

(二) 毎年特定の時期に支出が見込める費目。このグループは個別に出費の額を見積もることによって、年間の予測値を算出することが可能です。

① 法要費：… 法要、儀式に係わる費用

② 教化布教費：… 布教、講演会等に要する費用

③ 会議・研修会費：… 総代会、教化団体等の会議・研修会に要する費用

④ 会費課金：… 仏教会費、宗派賦課金等

⑤ 損害保険料：… 建物に対する火災保険料

⑥ 植木手入れ料：… 庭園や植木の手入れ費用

(三) その他の費目。過去の経験や実績から概算で予算化することになるでしょう。

① 交通費：… 交通費、宿泊費、高速道路代等

② 消耗品費：… 事務用品その他の消耗品

③ 渉外費：… 門信徒や他寺院などの接待交際に要する費用

④ 修繕費：… 建物、什器、車等の修理代

⑤ 報酬、手数料：… 他の寺院から役僧等の派遣に対する報酬や事務代行等の手数料

⑥ 雑費：… 上記のいずれにも該当しない費用

規模や実情に合わせ、科目の種類や数を適宜変更して、各寺院に必要な科目を設けてください。

要は、収支の科目ごとに金額を見積もり、収入科目の合計金額から支出科目の合計金額を差し引いて黒字になるようにし、もし赤字であれば支出を見直して費用の圧縮を図り

ます。それに限りがあれば収入を増やす工夫を凝らし、ともかく収支均衡の予算をたてることが肝心です。

(税理士法人ゆびすい

宗派顧問税理士 佐久間 進)

このコーナーでは皆様からのご質問を募集いたします。寺院会計・税務に関するどんなご質問でも結構ですので、書簡、FAXまたは電子メールにてどしどしお寄せください。皆様からのご質問をお待ちしております。質問のあて先、お問い合わせは所務部へ財務担当まで。

〒600-8501

京都市下京区堀川通花屋町下ル

浄土真宗本願寺派宗務所内

所務部へ財務担当へ

TEL 075-371-5181(代)

FAX 075-351-1211

メールアドレス

zeimusoudan@hongwanji.or.jp